

親子で食育を学ぼう



料理を作る楽しさを通じて、食に対する関心を高めてもらおうと、三好市保健センターで8月19日、「おやこ食育教室」が開かれました。この日は7人の親子連れが参加し、ヘルスメイト三好のメンバー4人から調理の指導を受けながら、オムライスやサラダなど彩りや栄養バランスが考えられたメニューを作りました。

子どもたちは慣れない手つきながらも包丁を使って野菜を切ったり、盛りつけに挑戦しました。出来上がった料理は全員でおいしく味わいました。

笑いにつつまれた奥祖谷



今年も奥祖谷夏まつりが8月13日に東祖谷中学校で開催され、約400人の市民や、帰省客らで大変賑わいました。まつりでは、ユニークな催しが企画され、ストローでのビール早飲み、豆腐の早食い大会などで盛り上がり、会場内は笑いで満ち溢れていました。

他にも阿波踊りや映画鑑賞会など盛りだくさんでした。フィナーレは往く夏を惜しむように花火が打ち上げられ、真つ暗な夜空が様々な色で彩られました。

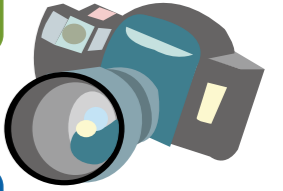
夜空を彩る花火に魅了



河内谷河川敷において8月13日に三野フェスタが開催され、帰省客を含め市内外から約1500人が来場しました。

会場には多くの夜店が並び、まつりの中盤には、保育所の子どもたちや地元三野町の阿波踊り連など5つの連の自慢の踊りが披露され、会場は大変盛り上がりました。まつりの最後には夏の夜空を彩る花火大会もあり、花火が打ち上げられると会場からは歓声が上がリ、訪れた人々を魅了しました。

まちかど フォト ニュース



おもしろいこと、珍しいもの、どんなことでもいいので耳よりな情報をお知らせください。

三好市役所 秘書広報課
☎0883-72-7646

中学総体で三好市勢が活躍

第63回徳島県中学校総合体育大会へ市内の中学校も各競技に参加し、弓道で池田中学校、サッカーで井川中学校が優勝をしました。また井川中は、県総体でサッカー競技が始まった1962年から半世紀近くこのチームも達成できなかった、3連覇という偉業も達成しました。サッカー人気で年々参加校が増えるなか、今年は52校もの参加があり、そんな中で4度目の優勝となりました。おめでとうございます。



甲子園球児を目指して



池田高野球部元監督・故葛文也さんの功績をたたえる第2回葛文也杯選抜野球大会が8月26日から29日まで吉野川運動公園などで行われました。市内外の中学校16チームが参加し、香川県の豊中が優勝しました。

開会式では池田高校出身で元読売巨人軍投手の水野雄仁さんが「ここは自分が練習した思い出の場所。ぜひ池田高校へ進学して甲子園に出場してください。」とお願いの挨拶をし、第一試合の開始時には始球式も務め、大会に花を添えました。

ちびっこスイマーが力泳



第39回四国学童選手権水泳競技大会が8月22日、23日の2日間、池田中学校プールで開催されました。この競技大会は、毎年四国四県の水泳連盟が主催しているもので、四国4県から700人以上のちびっこスイマーが集まりました。日頃の練習の成果を発揮し、大会記録や自己記録の更新を目指し、力の限り泳ぎました。

この大会に参加したスイマーから、将来オリンピックで金メダルを獲得の選手がいるかもしれませんね。

健康の自己管理をしよう



夏期健康教室が8月21日、三好市保健センターにおいて開催されました。まず最初に、西祖谷山村診療所の川下所長が熱中症についてのお話をしてくれました。熱中症の対処として「スポーツドリンクなどで塩分を補給すること」など教えていただきました。また認知症についてもお話をいただき、参加者は熱心に耳を傾け、質問していました。

その後は、市の大西保健師による太極拳の体験もあり、健康への意識を高めました。

毎日使う箸に感謝



箸蔵寺で8月4日、経と太鼓の音が響き渡る中、護摩がたかれ、箸の供養がされました。山伏姿の行者が般若心経を唱えながら、火柱が上がる炎の中に護摩木を次々と投げ込み、燃えた灰の上を信者らが素足で歩く火渡りも行われました。

また、供養に先立ち、法被姿の箸蔵小学生らの計13人が、長さ4メートルと2メートルの大小二組の箸を載せたみこしを担いで約280段の石段をかけ登る、みこし渡御もありました。

憧れのムシに感激



道の駅大歩危で8月1日から16日まで、世界の昆虫展が開催されました。昆虫展では、国内外のカブトムシやクワガタなど約1000匹の標本が展示されました。なかには生きた標本として、ヘラクレスオオカブト、コーカサスオオカブト、ギラファノゴリクワガタなども展示され、子どもたちは目を輝かせ大きな声で喜んでいました。

最終日には、ムシの大きさを競うコンテストや、珍しい昆虫が当たる抽選会も行われました。

地域で守ろう



7月28日、三野公民館において、この日までに結成された三野全地域14地区の自主防災組織の役員や消防関係者が出席し、連合会の設立総会が行われました。

最初に俵市長が「三野地区で100%自主防災組織が結成され、東南海地震や災害に備えて組織強化をしてほしい。」とあいさつ。その後、消防署の「住宅用火災報知機の設置」や徳島県の「寄り合い防災講座」が行われ、防災に対する備えについて学びました。